

～国会集会に参加して～

「シブシブついていった集会だったけれど…」

「国会集会に行かない？小島さんがお昼ごはんご馳走してくれるよ。なんでも食べていいって!」とケアサポートえんの管理者に誘われ、つい「行く!!」と返事をしてしまった。

当日の行き先は国会議事堂ではなく(残念!)、衆議院第一議員会館というところだった。この日の私の役目は、玄関で集会参加者に入館証を配ること。建物は広く黒っぽいスーツの人が出入りし、社会科見学状態。

さて「史上最悪の介護保険改定を許さない!」集会。いろいろな立場の力強い発言が続く。国は家族介護に戻そうとしている。要介護1,2が介護保険サービスから外れて総合事業に移行したら、受ける事業所がなく在宅要介護者が放置されるのではないかなどなど。

特に衝撃的だったのは、車椅子利用者の会場からの発言だった。夫要介護5、妻要支援2、夫の訪問入浴で高温の湯船に入れられてしまい、ケアマネに伝えたと、トラブルのあった利用者には来てもらえなくなるから何も言えない、と言われた。人手不足のため必要なケアに入れないと断られ、それなのに「自費サービスでいかがですか」とも。ふたりの介護費用でたくわえを使い果たし、生活保護を申請中という。このようなことが将来自分の身にも起きるかもしれないと思うととても不安になった。今の利用者さんのためにも、自分自身のためにももっともっと声を上げていかなければと思った。

シブシブついていった集会だったけれど、別世界を見られて、衝撃を受けて、たくさん学べた自分がいた。

(ケアサポートえん／清野信江)

「怒りは力だ!」

永田町の衆議院第一議員会館に行ってきました。国会議事堂もある永田町は私たち国民に身近であるはずなのに、何だか敷居が高い。このたびは議員会館で開催する「史上最悪の介護保険改悪を許さない!院内集会および記者会見」の会場受付というお役目を仰せつかったの探訪となりました。えんからは各事業所から総勢5名のスタッフが参加し、平生はゆっくり話せない職員同士、仕事を離れ交流が持てたのは収穫でした。そして、何よりも、集会で介護業界の錚々たるメンバーの生の声を聞いたことは大切な経験となりました。

改悪反対のアクションは10月から11月にかけて4回の連続オンライン集会でご覧になった方もありますが(その影響で、SNS上で「#要介護1と2の保険外し」がすごい勢いでトレンド入りし、オンライン署名が急増したことも)、その締めくく